

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

TARO 2020 Round.4 TWIN RING MOTEGI

TARO JSB1000 **44** **TARO SEKIGUCHI**



SANMEI Team TARO PLUSONE

TARO SEKIGUCHI RACE REPORT

2020 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第4戦
SUPERBIKE RACE in MOTEGI

栃木県・ツインリンクもてぎ (1周=4.801379km)

クラス: JSB1000 マシン: BMW S1000RR タイヤ: BRIDGESTONE

2020年10月17日(土) 天候: 雨 コース: ウエット

レース1 予選: 16番手 (タイム: 2分05秒794) 決勝: 13位

2020年10月18日(日) 天候: 晴れ コース: ドライ

レース2 予選: 16番手 (タイム: 2分06秒899) 決勝: 15位

観客動員数: 13,500人 (2日間合計)



A-big Motorrad



ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

TARO 2020 Round.4 TWIN RING MOTEGI

TARO 順位以上の収穫の多かったもてぎラウンド



10月に入り一気に気温が下がりレースウィークも例年以上に涼しいと言うより寒いコンディションとなった全日本ロードレース選手権第4戦ツインリンクもてぎ。

今回も事前テストはなく前週のスポーツ走行に参加。ウエットは、ほとんど走らなかったが、ドライでは、いいフィーリングで走ることができていた。



木曜日の特別スポーツ走行から始まったレースウィーク。木曜の2本目で1分50秒955を出し7番手につけると、金曜には、1分50秒324までタイムアップ。ポジションは9番手となるが、前戦のオートポリスラウンドからの流れで、BMW S1000RRの理解度が進んでいる手応えを感じていた。



しかし、公式予選とレース1の行われた土曜日は、天気予報通りの雨となりウエットコンディション。予選が始まり、コースイン直後に電気系トラブルが発生してしまい5

コーナーでストップ。レッカーで回収されピットに戻り、何とかコースに戻るものの4、5周しかできずベスト、セカンド、

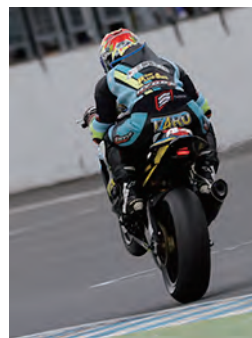
共に16番手となってしまふ。ドライコンディションでのセットは進んでいたが、ウエットのセットは進める時間がなく、レース1には、ある程度想定した状態で臨むことになってしまふ。



レース1がスタートすると5コーナーでアクシデントが発生し赤旗中断。レースは2周減算され21周で争われることとなる。2度目のスタートが切られると、関口はマシンの状態を確かめながらセットが決まっていなくてもライディング面で工夫しながらペースを上げて行く。ラップタイムも2分03秒台に入っていたが、16周目に他車の転倒があり赤旗が提示される。15周終了時点でレース成立となり13位という結果となった。



日曜日は、朝方に霧が発生し、朝のウォームアップ走行開始が30分遅れたため、レース周回数が2周減算の21周で行われることに変更される。朝のウォームアップ走行では、さらにセットを進め、ユーズドタイヤながら1分50秒台にも入れることができたこともあり、いい手応えを感じてレース2に臨んだ。



好スタートを切った関口は、1コーナーに13番手辺りで進入。オープニングラップを12番手で終えると、3周目に10番手に浮上。4周目には1分50秒台に入れ6周目のS字コーナー進入で岩田選手をかわし9番手に上がると、7周目にベストラップとなる1分50秒685をマーク。さらに追いつけて行きたいところだったが、8周目のヘアピン進入でエラー表示が出るとエンジンがストール。ヘアピン立ち上がりでマシンをインに寄せストップさせた関口は、電源を一旦リセットし再スタート。電気系トラブルで最後尾まで落ちてしまうが、マシンの状態はよかったため攻めの走りを見せ、コンスタントに1分51秒台で周回し15位でゴール。順位は満足行くものではなかったが残り3周となった19周目に1分50秒台に入れるなどレース内容は悪くなかった。次戦は、早くも最終戦。今のいい流れを結果につなげたいところだ。

■関口太郎コメント

「今回のレースも多くの応援をありがとうございます。コロナ禍にあり、パドックへの入場制限やピットウォークが開催されない中、現地まで駆けつけてくれたファンの皆さんにも感謝いたします。肝心な場面でトラブルが出てしまい、いい結果は残せませんでしたが、調子はすごくいいと思います。すきあらば上位に進出できるという可能性を感じられましたし“Team TARO”というプライベートチームとしてJSB1000クラスでやっていける手応えのあったレースになりました。次戦は、早くも最終戦になってしましますが、今回のトラブル対策をしっかりと、今シーズン最高のレースをして終わるように全力を尽くします」



TARO

このリリースへのお問い合わせは、
下記メールアドレスまでお願いいたします。
E-mail : tarosekiguchi@gmail.com